

# がん診療 あさひ

5号

2019年9月  
発行

～がんと診断されたり、治療を受けるときに、役立つ情報をまとめました～



入院・手術サポートセンタースタッフ

## ・・・「入院・手術サポートセンター」のご紹介・・・

外来患者さんの円滑な入院、退院手続きなどを支援するための「入院退院センター」と、手術が決定した患者さんが周術期(手術前、手術中、手術後)を安全・安楽にすごせるように支援する「周術期センター」が統合し「**入院・手術サポートセンター**」に生まれ変わりました。

入院にあたり、不安な事、疑問な事、解決しなくてはならない事、医療者に知っておいてほしい事など、様々な問題に対応できるよう多職種で連携しております。

一人で悩まずに相談して下さい。安心して入院、安心して退院できるよう少しでも力になりたいと思っております。

入院・手術サポートセンター  
看護師 茂木鈴枝

当院は、「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。

地方独立行政法人  
**総合病院 国保旭中央病院**

〒289-2511 千葉県旭市イの1326 TEL.0479-63-8111(代) FAX.0479-63-8580

www.hospital.asahi.chiba.jp

## わたしたち歯科衛生士は 口腔ケアでがん治療を サポートしています



### その1 がんで「手術」を受ける方へ

手術の際にお口の中が不潔な状態だと、術後に肺炎を起こす可能性が高く危険です。お口を清潔に保つために口腔ケアはとても重要なのです。

当院で行っている、がん手術前後の口腔ケアをご紹介します。

#### 術前

- 歯石除去
- 歯磨き方法のご指導
- むし歯・歯周病のチェック



手術に支障をきたす歯は歯科医師が手術までに治療します。

#### 手術前日

歯科衛生士がお口のすみずみまで清掃します。

#### 手術当日

食事をしていなくても口の中には細菌が増殖しています。手術室に行く前にご自分でしっかりケアしましょう。

#### 術後

体調が回復するまで、歯科衛生士が口腔ケアをサポートします。

いざ手術となって慌てることのないように、日頃から歯や口の手入れをしっかりとっておきましょう。定期的に歯科医院を受診しておくことをおすすめします。



歯科衛生士 網中克恵

次号では、化学療法を受ける方の口腔ケアについてご紹介します。

## 緩和ケアチーム について

「がん」に限らず、病気が発症し、当院にて「検査」を受け、病気が診断される際から、「不安」や「心配事」などが出てきます。

また、治療を受けている際にも、治療や病気に伴う「痛み」などの身体的な「苦痛」が加わることがあります。

そこで「医療用麻薬」などの提供を適切に受けることによって、苦痛が和らぎ、「治療」を受けやすくなります(サポーターケア)。

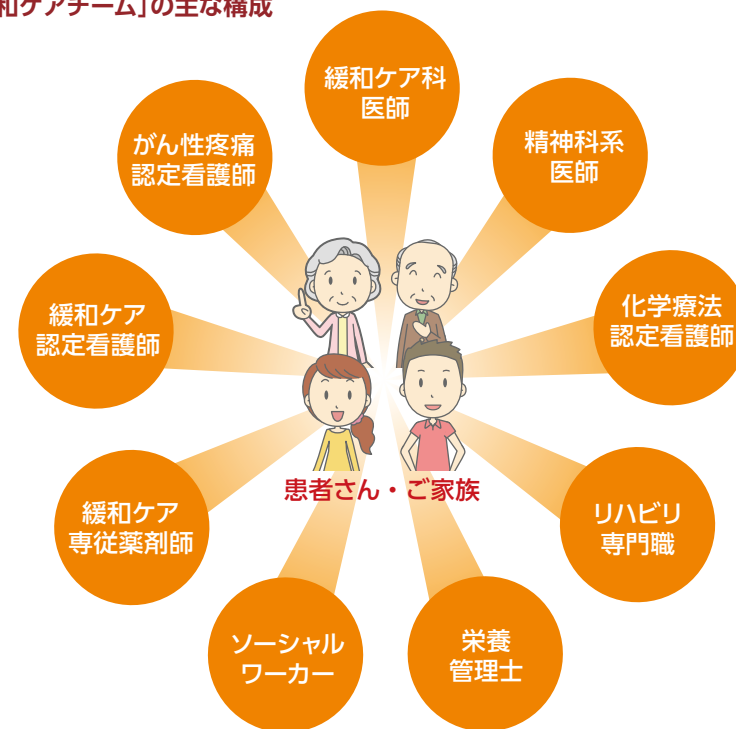
身体的な苦痛や精神・心理的な苦痛の他にも、療養費や生活費などの経済的な苦痛、仕事ができなくなったことによる社会的な苦痛、自分の生存が危なくなったときに生じる根源的な苦痛が出てきます。そのことに対処するために、当院には「緩和ケアチーム」があります。

「緩和ケアチーム」には、緩和ケア科医師、精神科医師、外科系医師、心理療法師、緩和ケア認定看護師、化学療法認定看護師、緩和ケア専従薬剤師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなどのメンバーが加わっています。

「緩和ケアチーム」は、病気が「診断」される時期、「治療」を受けている時期から皆さんに関わることによって、苦痛をできるだけ緩和することを目指しています。

心配なこと、痛みなどの苦痛について相談したいことがありましたら、「緩和ケアチーム」に、ご相談ください。お待ちしております。

### 「緩和ケアチーム」の主な構成



## がん相談支援センター

### 「がん」について、お気軽にご相談ください

「がん診療連携拠点病院」には「がん相談支援センター」が設置されています。

当院では、社会福祉士・看護師が相談に応じます。必要に応じて、医師・薬剤師・管理栄養士等と連絡を取って、お話を伺います。



#### 〈相談例〉

- がんと言われて頭が真っ白になってしまい、誰かに話を聞いてほしい。
- どのように治療に取り組んだらよいでしょうか。
- がんの治療ってどのくらいお金がかかりますか？
- しごとを続けるのは無理でしょうか？
- 介護が必要になったらどうしますか？



など

「紹介患者センター」では、セカンドオピニオンについての相談に応じることができます。(医療機関検索・相談方法・費用、予約について)

### がん相談支援センター 2号館1階 医療連携福祉相談室

時間/月～金(祝日を除く)  
8:30～17:15

相談は無料です。

※なるべく予約して頂くことをお勧めしています。

※当センターで医師と直接お話をすることはできません。社会福祉士・看護師がお話を伺い、担当医にご相談内容をお繋ぎすることは可能です。

### がんと診断されても、すぐに仕事をやめないでください!

#### —— がん患者さんの就労支援について ——

がん治療と仕事を両立している患者さんはたくさんいます。当院の『がん相談支援センター』には、がんの治療と仕事の両立について相談できる『両立支援コーディネーター』がいます。がんと診断されて、すぐに退職を決めるのではなく、担当医や産業医とも相談しながら治療計画に合わせて、働き続ける方法を一緒に考えましょう。まずは担当医・看護師にお声かけ下さい。

### がん患者サロン 乳がん患者サロン 開催について

#### がん患者サロン

毎月第3月曜日  
14:00～16:00  
参加費 無料  
事前申し込みは不要です。

#### 乳がん患者サロン

毎月第3木曜日  
14:00～16:00  
参加費 無料  
事前申し込みは不要です。

# 「入院・手術サポートセンター」のご案内

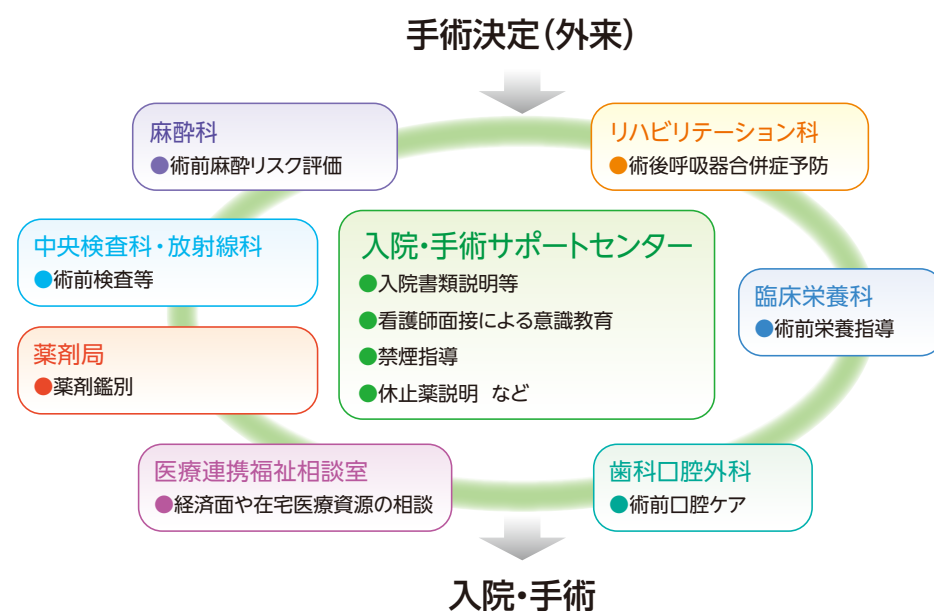
—これから当院で入院して手術が決まった方々に—



## 入院・手術サポートセンターって？

名称が長く、言いづらいと思いますが、病院にとってとても重要な枠割を持った部署です。ぜひ、覚えて下さい。

入院生活が安心して過ごせ、安全な治療を受けてもらい、スムーズな退院支援ができるよう、医師、看護師だけでなく、ソーシャル・ワーカー、薬剤師、栄養士、理学療法士、など多くの職種で関わられるようになっていきます。



## 何時必要なの？

検査や手術、治療が必要となり、入院が決定した患者さんに来ていただきます(今後、予約制となります)。

## どんなことをするの？

- 入院に必要な書類の説明。
- 限度額適応認定証の申請方法。
- 入院・退院に支障となる問題の相談。
- 検査、手術に支障となる薬や既往歴の確認。などです。

## 入院が決まったら全員行くんですか？

各外来で入院が決定した全ての患者さんに医師の指示のもと、センターに寄ってもらいます。しかし、現状は全入院患者数の半数しかセンターを経由されていません。その理由として、当院は救急外来や各外来からの緊急入院が多いためです。そのような方にも書類の不備や退院に向けて早期介入ができるよう、より多くの方にご利用していただきたいと思っています。緊急入院された方は病棟スタッフへ確認して下さい。

入院・手術サポートセンター  
看護師 茂木鈴枝

# 当院の治療や医療のご紹介

多面的な治療で、患者さんを支えます

## 手術療法について

手術療法とは、がんを切り取って治す治療法です。がんを完全に治すための治療法として、ほとんどの場合手術療法が選択されます。

手術はからだに負担のかかる治療法ですので、これをなるべく軽くするためにいろいろな手術が開発されています。胃カメラなどの内視鏡による手術では、皮膚にメスを入れることなくがんを切除できます。また、腹腔鏡や胸腔鏡による手術では、従来の開腹や開胸による手術に比べてずっと小さな傷でがんを切除することができます。

現代の手術療法は、チーム医療として行われます。たとえば、手術に加えて抗がん剤や放射線を併用する場合は、外科・内科・放射線科が一緒に治療にあたります。また、術前の準備段階から術後の回復期まで、外科医・麻酔医・看護師・薬剤師・理学療法士など多くの職種の人たちがチームとして診療に加わり、患者さんが安全に手術療法を受けられるような体制が作られています。

(外科 永井)

## 緩和ケアについて

●「緩和ケア」とは、病気が診断されたときから、患者さんが感じる体と心の苦痛をやわらげるケアのことです。

●「緩和ケア」を受けると、生活の質(QOL)が向上します。患者さんが自分らしく生きていけるように支えます(サポーターケア)。

●苦痛を緩和する治療(鎮痛薬などの薬の投与)や心のケア・社会的な悩みや経済的な悩みに対するケアが、専門スタッフ(緩和ケアチーム:別記)によって行われます。

●「緩和ケア」は、患者さんを支えるご家族のケア(家族ケア)も行います。

(緩和ケアセンター 小早川)

## 放射線治療について

### 治療の特徴

X線や放射性物質が出すビームを利用して、手の届かないところに治療ができるという特徴があります。各診療科、画像診断部門と協力して問題を見つけ、解決を目指しています。

- 外照射
  - 一般的な外照射(ほぼ全身が対象で乳房温存療法、食道癌、骨転移など)
  - 高精度治療 IMRT 強度変調放射線治療(前立腺癌など)、定位放射線治療(脳腫瘍、肺癌、肝臓癌など)
- 腔内照射(子宮癌)
- 内用療法 ソーフィゴ注(骨転移)、ゼヴァリン注(悪性リンパ腫)

(放射線治療科 太田)

## 化学療法センターでの治療について

「手術」「放射線治療」と並んで、がん治療の3本柱のひとつに「化学療法」があります。近年、新しい抗がん剤の開発や副作用を軽減する支持療法の進歩などにより、治療効果が向上し、標準化された化学療法が適用されるようになりました。このように有効な化学療法を多くの患者さんが受けるようになり、QOL(生活の質)が重視されるようになったことから化学療法は外来治療が中心となり、安全で質の高い医療の提供の場として化学療法センターが設立され、全科の治療がここに集約されています。化学療法センターの病床数は40床(リクライニング8、ベッド32)あり、スタッフはがん化学療法看護認定看護師1名を含む看護師7名と医師1名が常駐しています。1人の患者さんを包括的に支えていく上での治療やサポートの質を高めるために医師、看護師、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、リハビリ療法士によるチーム診療を行ない、すべての患者さんに満足していただけるよう心がけています。

(化学療法科 中村)

